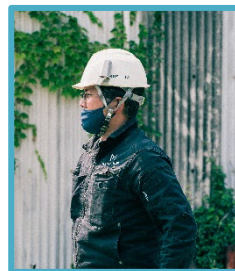


株式会社 松下組

工事名：告川緊急対策工事（工事箇所：葦北郡芦北町告地先）

球磨川水系に属する告川。7月豪雨の激流によって川岸（護岸）が崩れていました。これ以上の被害の拡大を防ぐため、応急処置として、崩れた箇所に大型土のうを設置し、護岸復旧を行いました。

被害は民家の真下まで及んでおり、重機の振動などで建物が崩れる可能性があったため、慎重な作業が求められました。 「多少崩れてもいいから早く直してほしい」という住民の悲痛な声からもわかるように、スピードも求められる工事でした。無事に工事が終わったときには、ほっとしたのと同時に、何気ない普段の生活のありがたみを再認識させられた工事でした。



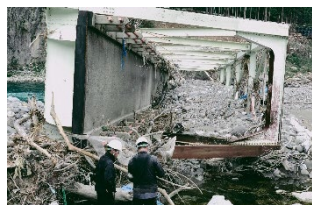
緒方孝行



工事名：大瀬橋旧橋撤去工事（工事箇所：球磨郡球磨村大瀬地先）



宮島弘一郎



7月豪雨の影響で壊れてしまった橋を撤去する工事でした。当初「橋を撤去する」という目的は決まっているものの、手段は決まっていなかったため、現場で最適な工法を検討しながら、同時に施工を行う必要がありました。加えて、この規模の撤去工事は経験したことがなかったので、非常に取り組み甲斐のある工事でした。

また、この工事では橋の撤去だけでなく、上流で流出した橋への連絡通路として、LIBRA工法による仮栈橋の設置も行いました。

今後の災害復旧工事へと繋がる“架け橋”を渡すことができ、とてもうれしく思います。